あなたも組合に入りませんか

全日本教職員組合 全教

2013年版

安心して働き続けたい

私たちは臨時教職員のみなさんを応援します。

20万人の臨時教職員が教育現場を支えています

小・中学校や高校、障害児学校には、臨時的任用や非常勤で働く教職員が約20万人もいます。本来は正規採用とすべき教職員定数をくずした、安上がり政策の結果です。いまや5人に1人が臨時教職員です。

教育に「臨時」はありません。全教は、正規教職員の定数増と臨時教職員の正規採用をめざす運動をすすめています。

採用試験の合格をめざして

「正規採用してほしい」、多くの臨時教職員の願いに応えて、各地の教職員組合が「採用試験対策講座」を実施しています。そこでは、「いっしょに合格」を合言葉に、日々の実践の交流や連帯感も大切にしています。青年組合員も応援して、「子どもたちのためによい先生になりたい」という願いに応えた学びの場にもなっています。

組合に入って一緒に前へすすもうよ

臨時教職員は、低賃金や雇用の不安に苦しみながらも、子どもたちのために頑張っています。よりよい教育をおこなうためには、臨時教職員の賃金や待遇の改善が必要です。

組合に入って、「空白の１日」（年度末などに任用が途切れる1日）による不利益や賃金・休暇の差別を解消するために、ともに頑張りましょう！

同じ気持ちを持った仲間と頑張れた

青森県むつ市立
大平小学校
山谷　優さん

臨時教職員として、教諭と変わらない仕事をしました。試験や仕事で悩む日々が続き、そんな中、組合と出会いました。そこで、同じ境遇にある仲間と出会い、一緒に勉強し、合格することができました。自分の夢を果たせたのは、組合の先生方や仲間のおかげです。仲間を大事にしながら、強い信念を持って夢に向かって突っ走ってください。応援してます。

毎月25日発行　B5判　48頁　500円(税込)年間購読料6000円　購読申込は、所属組織または全教／『クレスコ』編集部　cresco@zenkyo.orgまで

月刊 クレスコ
現場から教育を問う
cresco

『クレスコ』は、教職員のニーズに応え、
教育の課題を読み解き、
現場から教育を問う雑誌です。

編集:クレスコ編集員会 全日本教職員組合／発行:大月書店

月刊『クレスコ』の楽しみ方

『クレスコ』の楽しみ方一活用法は2つ。
ひとつは特集を読む。「この教育課題なに!?」という、いざというときに役立ちます。
もうひとつは、連載だけ、ざーっと読む。これなら、仕事の合間に15分くらい。しかも、ほっこりした気持ちになれます。
あなたもお手元に、『クレスコ』1冊どうですか?

北海道・稚内市立稚内東小学校
内藤修司

こんな人も登場しています
あさのあつこ(作家)／池澤夏樹(作家)／井上ひさし(作家)／内田　樹(思想家)／上野千鶴子(社会学者)／小川洋子(作家)／尾木直樹(教育評論家)／香山リカ(精神科医)／椎名 誠(作家)／重松 清(作家)／武田鉄矢(俳優)／堤　未果(ジャーナリスト)／中川翔子(タレント)／山本太郎(俳優)／湯浅 誠(反貧困ネットワーク)

今後の特集
4月号　教師になったあなたへ2013　　5月号　安倍政権の「教育改革」を問う

一人で
悩まないで

困った時はすぐに相談してください。

授業がなかなか
うまくいかない

授業は子どもたちと一緒につくるものです。子どもの目が輝く授業、意見がいっぱい出る授業をしたいと誰もが願っています。工夫やアイデアを持ち寄って、一緒に勉強しませんか。

いい授業をしたいと願うほど、悩みも尽きません。おおもとに、どの子もわかるようには作られていない学習指導要領、教えきれない教科書の分量などの問題があることも考えましょう。

セクハラ、パワハラ、
もう我慢できない！

我慢しないで相談したことから、組合と一緒になって解決した事例はたくさんあります。いつ、どこで、誰に、どのようなことをされたのかをメモにして、すぐ組合に相談してください。

組合の運動で、教育委員会にパワハラ防止指針をつくらせた自治体も増えています。セクハラ・パワハラは、人を育てる教育の場にあってはならないことです。

自分は教師に
向いていない？

学級運営、授業、子どもや保護者との関係づくりがうまくいかないと悩んでいる先生はたくさんいます。子どもたちも、競争の教育と家庭の揺らぎのもとで、生きづらさを抱えています。

一人の教師の責任には限界があります。思いをため込まずに相談してください。「教師に向いてないから辞めなさい」などと校長が言うのは、許せないことです。

毎晩遅くまで
仕事でくたくた

毎晩遅くまで残業が続くのは、仕事が遅いのではなく、仕事が多いから、教職員が足りないからです。全教が行った勤務時間調査でも、平均で毎日2時間40分以上も残業をしている実態が明らかになり、文科省も改善が必要と言っています。月80時間以上の残業は過労死ラインです。

勤務時間内に教材研究やマルつけの時間を保障すべきです。

組合が全力でサポートします

全教
〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-1 全国教育文化会館 3 階
TEL：03（5211）0123　FAX：03（5211）0124
Email：zenkyo@zenkyo.org　ホームページ：http://www.zenkyo.biz/
全日本教職員組合

全教　検索